

平成18年度 伊丹市行政評価 ～事務事業評価編～

※事務事業名に【新規】の表記があるものは、H18年度から新たに開始された事業、【未実施】の表記があるものは、「これから5年間のまちづくりプラン」に位置付けがあり、H19年度以降に事業開始が予定されている事業。
※本記載内容は、評価表作成時点（H18年8月）のものであり、その後の状況変化などにより、公表時点において実施時期や事業費等が変更になっている場合があります。

事務事業コード	130102		あり、H19年度以降に事業開始が予定されている事業。 ※本記載内容は、評価表作成時点（H18年8月）のものであり、その後の状況変化などにより、公表時点において実施時期や事業費等が変更になっている場合があります。									
事務事業名	社会福祉大会事業						担当部局・課	健康福祉部 地域福祉課				
事業内容	「地域でつくるまち伊丹」をメインテーマに、地域福祉活動への実践につなげ、地域福祉力の向上を図る。						事業開始(予定)年度				C	
							平成12年度					
							事業終了(予定)年度					
							—					
この事業の上位施策	これから5年間のまちづくりプラン	視点	支え合いでつくる「安全・安心」のまちを実現									
		項目	きめ細かな地域福祉の推進									
		施策	地域福祉の推進・充実									
	⇒「これから5年間のまちづくりプラン」は、「第4次伊丹市総合計画」の後期5か年(H18～22年度)に計画的に取り組むべき具体的事業等を明らかにした事業実施計画です。 行政評価の実施にあたっては、各事務事業をこの計画体系に沿って整理しています。											
事業の目的	地域における福祉活動への意識を高め、実践につなげ、地域福祉力の向上を図る。						予算費目 (複数の費目にまたがる場合は、主な費目を表示しています。)		(款) 民生費 (項) 社会福祉費 (事項) 地域福祉対策費 (目) 社会福祉総務費			
事業費等の概算	平成17年度(決算)						平成18年度(予算)					
	事業費	500千円	財源内訳				事業費	—	財源内訳			
			国・県補助金等		—				国・県補助金等		—	
			市 債		—				市 債		—	
			その他(使用料等)		—				その他(使用料等)		—	
			一般財源(市税等)		500千円				一般財源(市税等)		—	
	投入人員	0.03人	⇒年間を通じてこの事業に投入される人的資源を概算により算出しています。算式で表すと次のようになります。 =担当課職員数×(当該事業の仕事量÷課の全仕事量)				投入人員	0.03人	⇒年間を通じてこの事業に投入される人的資源を概算により算出しています。算式で表すと次のようになります。 =担当課職員数×(当該事業の仕事量÷課の全仕事量)			
	人件費	257千円	⇒年間1人あたり平均人件費に投入人員をかけて積算したものです。				人件費	257千円	⇒年間1人あたり平均人件費に投入人員をかけて積算したものです。			
	経費合計	757千円					経費合計	257千円				
活動指標	指標名(単位)		啓発者数(人)					計画と実績	年度		H17年度	H18年度
	意味・算式等		開催場所のいたみホールの収容人数の上限の人数						区分	計画値	1,200	1,200
									実績値	1,200		